

出張報告

報告者 一心会 島津幸男

- 2019.10.30～11.2
- 鳴門ボート、葛飾北斎美術館、新宿区役所
- 一心会 ～島津幸男、尾崎隆則、友田秀明

目次

1. 調査内容 p. 2
2. 関係資料 p. 4
3. 参考書類 p. 8

BOAT RACE 鳴門

鳴門市企業局 ボートレース企画課 課長

前田 美香 Maeda Mika

〒772-8510 徳島県鳴門市撫養町大桑島字津岩浜48-1
TEL 088-685-8111 FAX 088-685-0342
E-Mail [redacted]

4th レディースオールスター
GO LADIES ALL STARS
2020.3.3火 4水 5木 6金 7土 8日 開催決定!!

鳴門市公営企業管理者
(水道・ボートレース事業)

企業局長 **山内 秀治**



〒772-0011
鳴門市撫養町大桑島字津岩浜35番地9
TEL (088)683-0236 FAX (088)685-3347
[redacted]

北斎没後170年記念
北斎 美術館の
名品展
茂木本家
2019.9.10(火) - 11.4(月) 振替休日

[前期] 9月10日(火)~10月6日(日) ※前棟期で一部展示替えあり
[後期] 10月8日(火)~11月4日(月・振替休日)
[休館日] 9月17日(火)、24日(火)、30日(月)、
10月7日(月)、15日(火)、21日(月)、28日(月)
[開館時間] 9:30~17:30(入館は17:00まで)
[主催] 墨田区・すみだ北斎美術館
[企画協力] 茂木本家美術館

すみだ北斎美術館
THE SUMIDA HOKUSAI MUSEUM

新宿区 SHINJUKU CITY

新宿駅周辺整備担当部
新宿駅周辺基盤整備担当課
課長

小川 奨
Ogawa Susumu



〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
TEL 03-5273-4186(直) FAX 03-3209-9227
[redacted]

新宿区 SHINJUKU CITY

新宿駅周辺整備担当部
新宿駅周辺基盤整備担当課
課長補佐

中村 信治
Nakamura Shinji



〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
TEL 03-5273-4164(直) FAX 03-3209-9227
[redacted]



議会事務局
調査管理係長

渡部 喜政
Watanabe Yoshimasa



新宿区 SHINJUKU CITY

〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
TEL : 03-5273-3534(直) FAX : 03-3209-9995
[redacted]

新宿区 SHINJUKU CITY

新宿駅周辺整備担当部
新宿駅周辺基盤整備担当課

鈴木 雄
Suzuki Yu



〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
TEL 03-5273-4164(直) FAX 03-3209-9227
[redacted]

1. 調査内容

(1) 鳴門ボート 徳島県鳴門市

ア 特色ある集客施策

- ・ 観光施設として充実
子供向け遊園施設
土産店～鳴門鯛 釣堀
温泉施設“湯パーク”～足湯
若者向けスポーツ施設～UZUPA
～スケボ・バスケ・サイクル
- ・ 売り上げ好調～市への編入 ⅴ 億
→ 人口5万人で徳島教育大学を誘
← 教育・運営費に充当

イ 市議会の強い拒否反応

- ・ 赤Tシャツの周南市議会が羨ましい
- ・ 狭い本場が競技成績に影響

(2) 葛飾北斎美術館 東京都墨田区

ア 北斎の生誕地。北斎に限ったの展示館

イ 年間集客数 300 万人

(内) 外国人 30% 特に仏人に人気

ウ 通常展示はレプリカ 特別展では実物

エ 専門の学芸員を配置

オ 購入等は専門の外部委員に委嘱

カ スカイツリーの間近で、観光ポイント

← 館内土産店も繁盛

キ 予算 ふるさと納税活用←地元特産品

(3) 新宿区役所 東京都新宿区

ア 新宿通のモール化

(ア) 駐車スペースに畳とベンチの

“SHINJUKU STREET SEATS”

イ 町おこしの実験 新宿通の改造計画

費用 民間持ち←付加価値アップ

視察報告 令和元年10月30日 鳴門競艇場 尾崎隆則

「ボートレース鳴門の経営状況について」

ボートレース鳴門は、昭和28年4月に初開催され、本州と四国を結ぶ鳴門大橋や、明石海峡大橋の完成で岡山から、また、関西からも高速自動車道で行き来できる。

平成28年4月にスタンドをリニューアルし、西日本最大級のスケートボード場・バスケット場等を設備し、平成29年には露天風呂からレース場が見える、天然温泉風呂「あらたえの湯」を設置し、地域貢献している。

売上金は平成29年度が約340億8千万円、平成30年度が約392億円で約51億円伸びているが、9月～3月までの半年間モーニングレースのおかげだと思う。

徳山競艇場も近くに健康パークの天然温泉があるが、レースを見ながら入浴できる施設を造ると、売り上げも一段と上がると思う。

行政視察報告 令和元年10月31日 東京都墨田区 尾崎隆則

「すみだ北斎美術館の整備・運営について」

すみだ北斎美術館は平成28年11月に開館。鉄筋コンクリート造り（一部鉄骨造り）地上4階、地下1階で敷地面積は1254、1m。美術館は公園施設として位置づけられている。

運営は、指定管理者制度で墨田区文化振興財団と民間の丹青社の共同企業体で管理運営をしている。管理費は2億8千万円で入館料1億2千万円、管理料1億6千万円。

葛飾北斎は墨田区で生まれ、数多くの優れた作品を残した芸術家として、また区民の誇りとして「すみだ北斎美術館」が造られた。

芸術にはまったく興味がないが、都会人は暇とお金があるらしく1日に500人超の入館者があると聞いて、周南市の美術館とは掛け離れている施設だと感じた。

行政視察報告 令和元年11月1日 東京都新宿区 尾崎隆則

「新宿通りモール化について」

新宿駅東口地区は、甲州街道、靖国通り、明治通り、新宿駅で囲まれた商業地域であり、百貨店や家電量販店等の物販をはじめ、多くの飲食店を有する日本有数の商業・サービス業の集積地である。

当該地区に存在する建築物は40～50年を経過したものが多く、建物更新が促進されるべきである。平成29年12月に新宿区が策定した「新宿区まちづくり長期計画」では、新宿駅東口エリアにおける戦略の方向性を「日本を代表する賑わいと歩きたくなるまちづくりの推進」と定め、新宿通り等を「賑わい交流軸」と位置付け、道路の歩行者優先化を進める計画としている。

しかし、百貨店や家電量販店の荷さばき車両の駐車で路上を占領しているため、歩行者優先化はむづかしいと考える。

地元商店会振興組合等が主体となって、違法駐車の影響活動を行い歩行者の空間造りをと苦勞しているが、まち全体の経済活動を考えるとなかなかうまくいっていないと感じた。

一心会 行政視察報告書 令和元年10月30日～11月1日 友田 秀明

10月30日 視察先 徳島県鳴門市 ボートレース鳴門

「ボートレース鳴門の経営について」鳴門市は昭和22年5月に市制施行し、現在面積80.12km²、世帯数26,284世帯、人口57,381人で四国東北端に位置し、豪快な渦潮の巻く鳴門海峡を隔てて淡路島と対峙し、古くから本州と四国を結ぶ交通の要衝として栄えてきた。昭和60年淡路島への鳴門海峡大橋の開通、平成10年明石海峡大橋が完成し、神戸淡路鳴門自動車道が開通し、14年に鳴門・高松間の高松道が開通し四国の玄関都市として、恵まれた自然や歴史文化などの観光資源を有機的に結んだ広域観光事業を展開するとともに、サツマイモやワカメ、鯛などの農水産物の供給基地としての体制づくりを進めている。

ボートレース鳴門は、施工認定が昭和27年3月17日、28年4月24日に初開催で、現在鳴門市が年156日開催（SG・PG1レース開催年は162日開催）第二施行者の松茂町ほか2町競艇事業組合が年24日開催となっている。施設は平成28年4月にスタンドリニューアルオープンし1,514台収容の駐車場、シングル席942、ペア席12、グループ席（4名掛）2、の観覧席を含む約14,539m²の建物と西日本最大級のスケートボード場、バスケットボール場、サイクルステーションを設備し、さらに露天風呂からボートレース場が見わたせる鳴門天然温泉あらたえの湯が29年にオープンして集客と地域貢献に積極的に取り組んでいる。また鳴門北インターから車で8分、鳴門駅から徒歩18分、空港から車で17分、高速バス「高速鳴門」バス停から徒歩3分と交通アクセスも非常に良い。売上金は29年度が約340億8千万円、30年度が約392億円で51億円伸びている。要因として9月～3月までの半年間モーニングレースに切り替えたことが大きいと思われる、徳山にとってモーニングレースの先駆者として脅威になる可能性もあるが、相乗効果のほうが大きいとみることができる。

一心会 令和元年 10 月 31 日 行政視察報告書

友田 秀明

視察先 東京都墨田区 視察項目 すみだ北斎美術館の整備・運営について

施設概要、平成 28 年 11 月 22 日開館、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上 4 階
地下一階、敷地 1254.1 m²、建物 699.7 m²、高さ 21.9m、延床面積 3278.9 m²

建物地の緑町公園は、都市公園法に基づく都市公園であり、美術館は「公園施設」として位置づけられ、公園面積の 12%以内で建設が可能。主な諸室等は一階に講座室と 70.3 m²の図書室、2 階に事務室・学芸員室・收藏スペース 291.8 m²、3 階に企画展示室 380.9 m²・4 階に企画展示室 186 m²・常設展示室 189.2 m²となっていて、総工費 3,449,136 千円で財源内訳は国庫と都交付金が 85%残り区の一般財源でできている。また運営は指定管理者制度で墨田区文化振興財団と民間の丹青社の共同企業体で管理運営をしている。指定管理費は 2 億 8 千万円で入館料収入 1 億 2 千万円、指定管理料 1 億 6 千万円である。当美術館の基本理念は、葛飾北斎が墨田区で生まれ、90 年の生涯のほとんどを区内で過ごしながらか、優れた作品を数多く残した北斎を強度の偉大な芸術家を区民の誇りとして永く顕彰するとともに、観光や産業へも寄与する地域活性化の拠点として、「すみだ北斎美術館」を開設した。北斎及び門人の作品を紹介するほか、北斎と「すみだ」の関わりなどわかりやすく伝えるために、展覧会や様々な普及事業をいとなんでいる。入館者数は 1 日約 500～600 人（入館料、一般 400 円）と驚く数であるのと、外国人も多くまた、和服で来館した人もいたり一言で言うなら上品な方々が多いのに驚いた。

一心会 令和元年11月1日 行政視察報告書

友田 秀明

視察先 東京都新宿区 視察項目 「新宿通りモール化について」

新宿駅東口地区の将来像・目標について、現状は幹線道路や新宿駅に囲まれた日本有数の商業・サービスの集積地であるため、恒常的に人や車の往来が激しく、歩行者の安全性の確保が懸念されるとともに、歩行者が休憩等に利用できる溜まり空間が不足し、まちの魅力が失われている⇒「歩きたくなるみちづくり」道路上で車と人を共存させながら違法な路上駐車を減少させ、車道の一部を歩行者空間へ転換（歩行者空間の創出）・歩行空間と滞留空間を区別し歩行者環境を改善した上で、歩行者空間を活用した賑わい創出を行い、まちの賑わいの質や魅力を向上させる⇒賑わい創出・物流効率化の複合型プロジェクト⇒多くの観光客や来街者をもてなし、賑わいにあふれた回遊性のあるまちを目指すための事業化として、本格実施を視野に置いて、社会実験を継続的に実施する。具体的には車道の一部に仮設歩道を設置し、新たな歩行空間をつくる（歩道に隣接した道路パーキング場や違法な路外駐車している所に仮設歩道）効果として路上駐車の減少による車道を歩行者のための空間に転換。また流入する荷捌き車両を減少するため、時間ルールをつくり特定の時間帯を歩行者優先空間の創出や違法路上駐車車両の路外駐車場への誘導やパーキングメーター利用時間遵守を図る「新宿東口荷捌きプロジェクト」等の社会実験で、まちの滞留時間の増加、まち全体の経済活動への影響の検証し、将来的に国家戦略特区の制度を活用した道路占用による、荷捌き集約事業等の公共還元を前提とした収益事業展開を見据え、道路空間の活用によるまちの賑わいを創出することを目的にした事業である。また事業化を見据え、地元商店会振興組合等が主体となって行う啓発活動の定着、啓発活動エリアで違法駐車へのルールを意識付け、啓発活動を行うことで地域全体の機運を盛り上げていく活動を実施している。